

食品ロスを減らす優秀な取り組みを表彰する本年度の「かがわ食品ロス削減大賞」の大賞に、うどんまるごと循環コンソーシアム（高松市）が輝いた。プラスチックごみの削減を進める個人や団体に贈る「かがわプラスチック・スマート大賞」の大賞はNPO法人アーキペラゴ（同）が受賞した。14日に県庁で表彰式が開かれ、代表者らが表彰状などを受け取った。



かがわ食品ロス削減大賞

うどんコンソーシアム（高松）

食品ロスとプラスチックごみの削減に取り組み、表彰された代表者ら＝県庁

両賞は持続可能な社会の実現に向けた機運を盛り上げようと、県が表彰。2020年度に始まった食品ロス削減大賞は4回目で、プラスチック・スマート大賞は今回が初めて。両賞にはそれぞれ19個人・団体から応募が寄せられた。

プラスチック・スマート大賞

アーキペラゴ（高松）

プラスチックごみ問題などの解決を目指して活動。プラスチックを減らすためにマイボトルを使う生活スタイルを普及啓発しており、水やお湯の無料給水スポットを一覧できる「オアシスマップ」を公開している。

同コンソーシアムの角田富雄会長は「廃棄うどんの回収先を増やすなどして発電の規模を拡充したい」、アーキペラゴの串田えみプロジェクトマネジャーは「オアシスマップで紹介するスポットを増やし、マイボトル使用をさらに広めた」と話していた。

他の受賞者は次の通り。（敬称略）

【食品ロス削減大賞】優秀賞 マックスバリュ西日本、三本松高校「三高みんなの食堂プロジェクト」、琴平町社会福祉協議会、下高瀬小学校▽特別賞 マックスバリュ西日本

【プラスチック・スマート大賞】優秀賞 川崎化工、中商事、ローション中四国カンパニー、イチーナ、セブーンイレブン・ジャパン▽特別賞 ローション中四国カンパニー